

人工芝の選び方 7つのポイント

—こんな人工芝は選ぶな！—



リアル人工芝専門 フィールドマジック



お客様からの質問で多いのが、「何を基準に人工芝の選ぶのかわからない」という質問です。
ほとんどの方は以下の5つのポイントで人工芝を選ぶようです。

- 1, 価格
- 2, 色
- 3, 手触り
- 4, 耐久性
- 5, 販売（施工）している会社

30㎡人工芝を庭に敷く工事を業者に依頼すると、20万円～30万後半の金額になります。

このような大金を支払って、最初はきれいだった庭が**1年以内にみすぼらしい状態になったら**
あなたはどう思いますか？

このような条件だけで人工芝を選ぶと、**1年以内に後悔することになるのでお気をつけ下さい。**

◎ 人工芝を選ぶ7つのポイント



では、何を基準に人工芝を選ぶかといいますと、以下のポイントで選ぶと間違いないです。

1, 芝葉の密度

2, クッション性

3, 手触り（柔らかさ）

4, 耐久性

5, 価格

6, 7年以上の製品保証があるか

7, 販売（施工）している会社

この7つのポイントです。

工事金額や販売会社の信用度を検討するのと同じくらい、芝葉の密度のチェックが必要です。

1 芝葉の密度



◎ なぜ人工芝の密度が重要なのか

では、なぜ密度が重要か説明します。

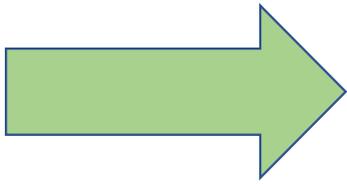
製品サンプルの段階ですと各社一様に芝葉が全て直立していてクッション性もかなりありふかふかで手触りも良いと思います。このような製品でも**施工から3ヶ月から半年くらい経つと芝葉が全て寝た状態（つぶれた状態ともいいます）**になります。

このような状態になりますと、最初にあったクッション性は全く失われ、遠目にはただ緑色の敷物になります。近くに寄って目を近づけて見ると、人工芝だと初めてわかる状態です。

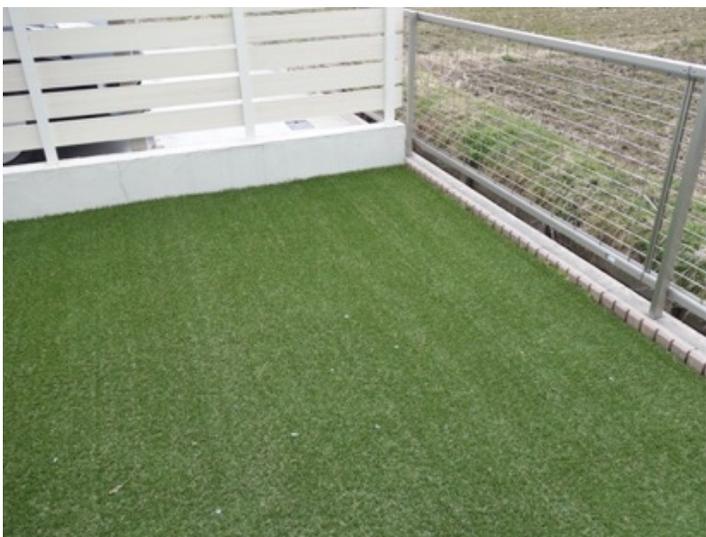
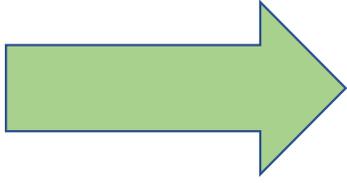
30㎡のお庭に人工芝工事を業者に依頼すると工事代を含めて30万円以上かかります。**選ぶ人工芝によっては30万円をかけて1年以内に無残な姿になる可能性が高くなるので、後悔ととても残念な気分になります。**



一般的な業者の取扱製品
施工 6ヶ月後



当社製品「エクスターフ」
施工 4年後

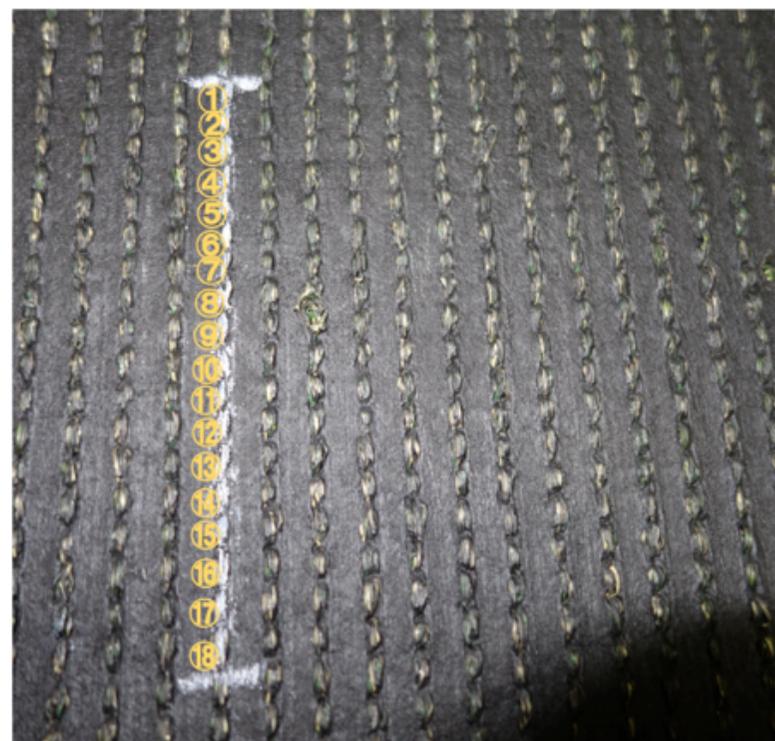
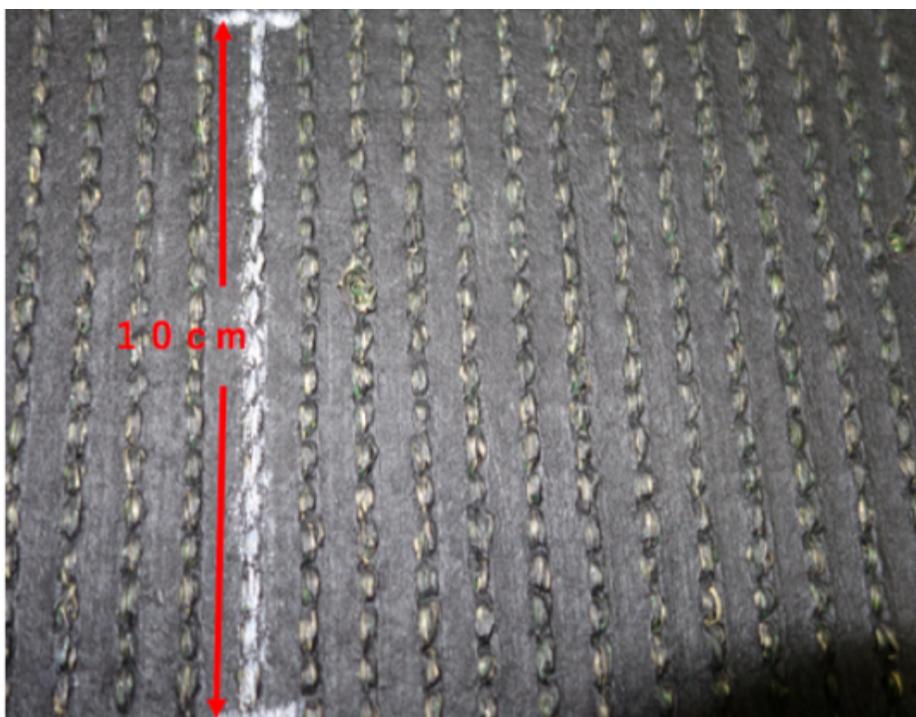


◎ 密度のチェック方法 ①



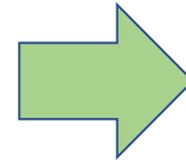
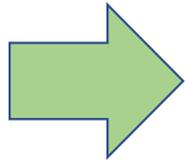
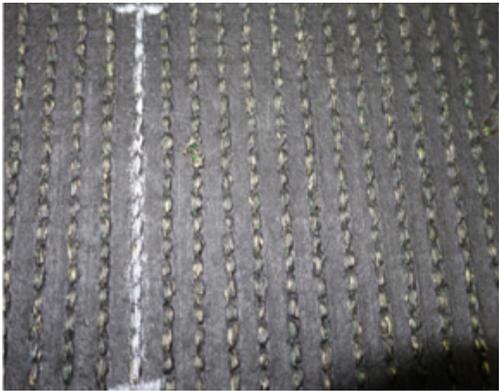
人工芝の上から指先を突っ込んでみて、指先が芝葉が植えてある底の部分（バックング）まで抵抗なく指が入ってしまうのは密度が低い製品と判断します。芝葉の抵抗があり、指をグリグリねじ込まなければ、バックングまで入らない製品は高密度の製品と判断できるので、このような製品をお選びください。

◎ 密度のチェック方法 ②

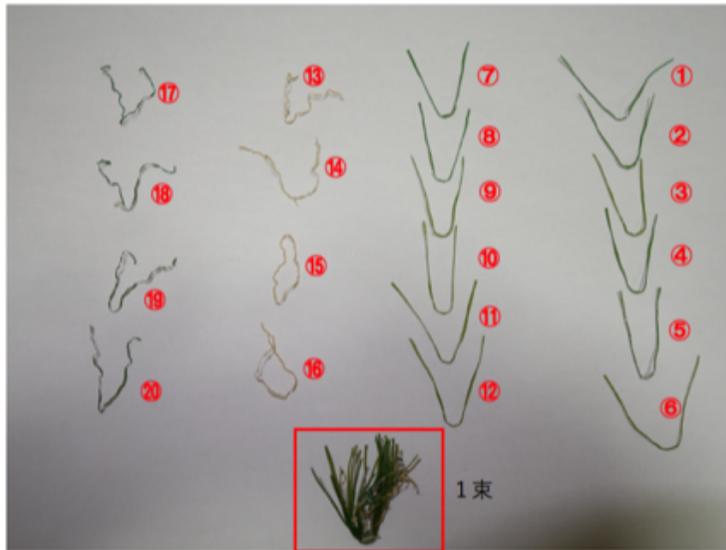


人工芝裏面（バックング）の縫い目（ステッチ）10 cmにいくつの縫い目があるか数える。18個以上の縫い目がある場合は高密度製品と判断できます。縫い目が16個以下の製品はおすすめいたしません。

◎ 密度のチェック方法 ③



・人工芝の裏から一つの縫い目を爪でつまんで引き抜く



・引き抜いた芝葉の束を分解し、芝葉を白い紙の上に並べ、芝葉の数を数える。芝葉の数が18本以上あれば高密度と判断できます。



2 クッション性

◎ 高級カーペットのようなふかふかな状態はいつまでも続きません。

人工芝のメリットの一つに天然芝に比べてクッション性が高いことがあります。

購入直後はどの人工芝にもふかふかなクッション性があり、触ったり歩いたりするととても気持ち良いものです。この高級カーペットのようなふかふかなクッション性がいつまでも持続すると思いませんか？残念ながら製品によっては短くて半年、長くても1年以内にはふかふかなクッション性が全くなくなる製品がほとんどです。その理由は芝葉の密度に関係があり、元々の製品の密度が低いと人が歩く重量負荷や紫外線による劣化などで芝葉が全て倒れて（つぶれて）しまいます。いつまでもふかふかなクッション性をお求めでしたら芝葉の密度が高い製品をお選びください。芝葉の密度については別ページでご説明しています。

◎ クッション性の違い



ホームセンター取扱製品

新品の時からすでにクッション性がなく、すでに芝葉が倒れている状態。この製品では最初からクッション性は期待できない。



一般的な業者の取扱製品

ゴルフボールの重量で底の部分までボールが沈んでしまっている。これ程度の密度では全体的につぶれてしまうには時間がかからない製品といえます。



当社製品「エクスターフ」

他製品に比べると高密度の製品のためゴルフボールが乗った状態になっている。10年の製品保証があり、長期間ふかふかな気持ち良い風合いを楽しめ、きれいなお庭が維持できます。

3 手触り（柔らかさ）



人工芝の手触りの柔らかさは芝葉の密度と形状によって変わってきます。寝転がってもチクチクせず小さなお子さんやペットのワンちゃんなどが気持ち良く遊ぶためには肌に優しい柔軟性のある柔らかい芝葉の製品をお選びください。柔らかさは人それぞれ好みがあると思いますが、柔らかさだけでなく前出しました芝葉の形状が重要となります。現在の主流となる芝葉の形状はV型、C型、スクエア型、スクエアの芯入りの4種類が一般的です。それぞれに特徴がありますが、芝葉の柔らかさはこのようになります。スクエア型 > スクエア芯入り > C型 > V型

ただ柔らかければ良いという事ではなく、スクエア型、スクエア芯入りは柔らかいのですが、デメリットとして短期間で芝葉が倒れてつぶれてしまいます。V型は形状的に自立性が高くつぶれに強いのですが手触りが硬くチクチクするのがデメリットとなります。このスクエア型とV型の良いところ取りをした製品がC型の製品で、つぶれにくく手触りが柔らかい特徴があり、耐久性にも優れています。

V型形状
(芝葉の断面がV字型)



スクエア型形状
(芝葉がたんざく型)



C型形状
(エクスターフ)



4 耐久性



◎ 人工芝の寿命っていつ？

人工芝の耐久性は製品によって大きく違います。人工芝販売会社に人工芝の寿命を質問すると4年～7年と答える会社が多くあります。人工芝の寿命というのはどのような状態になると寿命といえるのか、撤去・廃棄する時期なのか、人それぞれ違うと思います。例えば、安くて密度の低い人工芝を購入し、短期間で芝葉がすべて倒れてつぶれてしまった状態になった時に廃棄を考える人と、人工芝自体に穴が空いたり破れ、ちぎれなどが起きたときに撤去、廃棄をする時期と考える人もいます。

人工芝の劣化は紫外線で芝葉が硬化して、ポキポキと折れてちぎれる現象が起きます。それが進むと人工芝のバックング（芝葉が植えてある部分）に紫外線が当たるので、硬化が進み破れやちぎれが起きてきます。

◎ 人工芝の原料は耐久性に影響します。

人工芝の原料も重要です。人工芝の材質はPE（ポリエチレン）PP（ポリプロピレン）ですが、この原料がリサイクルペットボトルなどのリサイクル原料が使用されていると紫外線の影響も受けやすく、**短期間で退色したり硬化して芝葉の折れやちぎれ、破れなどの劣化が早くなる原因**になります。

また、リサイクル原料で製造された人工芝は耐久性が低いというデメリット以外にも、リサイクル原料は**医療系の毒物や化学物質、重金属などを含んだ原料**もあるので、**健康に影響が出る心配があります。**

また、リサイクル原料の人工芝は静電気がかなり発生し、ある幼稚園様では園児が静電気のパチツとなる痛みを怖がって園庭で遊ばなくなったとお困りの所もありました。平成27年にはニュースや報道番組で人工芝に**発ガン性物質が含まれていて、ガン患者が大量に発生した**と報道されました。人工芝はリサイクル原料でない、バージン原料で製造された製品を選んでください。

※エクスターフはバージン原料のみで製造された製品です。



◎ 裏面のコーティングも重要



人工芝の裏面には芝葉の抜け防止と人工芝の強度を高めるためにコーティングがしてあります。ほとんどの製品は「SBRラテックス」でコーティングしてあります。「SBRラテックス」より柔軟性があり強度が高く芝葉の抜け防止に効果的な「ポリウレタン」でコーティングしてある製品が耐久性が高くなります。ポリウレタンコーティングの製品が強度が高いのでおすすめいたします。

SBRラテックスコーティング



特徴は表面がつや消しになっている。縫い目全体にコーティングされておらず、縫い目が露出しているため強度が低い。

ポリウレタンコーティング



特徴は表面に光沢がある。縫い目を含めて裏面全体にしっかりコーティングされており強度が高い

5 人工芝の価格



◎ 人工芝の価格の秘密

あなたも気になる人工芝の価格を見ていきましょう。

人工芝の価格は、ホームセンターの¥800/m²~エクステリア会社の¥16,000/m²くらいの価格差がありますが、業者に施工を依頼するとだいたい工事費別でm²あたり¥5000/m²くらいが人工芝の価格になります。

金額が高いから品質の良い製品というわけではありません。

人工芝の仕入から利益を乗せて販売すると、だいたいそれくらいの金額になる

という理由で、**価格が高いから良い製品（密度や耐久性が高い）**というわけではないので勘違いしないでくださいね。

◎ 価格の違い



ホームセンター取扱製品

¥2,000/m² ~ ¥4,000/m²

芝葉の密度が低く芝葉が既につぶれて寝てしまっている。ある意味、天然芝に近いかもしれない。



一般的な業者の取扱製品

¥4,000/m² ~ ¥9,000/m²

いわゆる一般的にプロ用人工芝といわれている製品で、ホームセンターの製品より多少密度が高く新品の時は芝葉が立ち、クッション性もある。



当社製品「エクスターフ」

¥4,800/m²

他社製品に比べて芝葉の密度が高くクッション性に優れる。

6 7年以上の製品保証があるか



現在販売されている人工芝は、大手商社が海外から大量に輸入し、建築資材問屋に販売してそれをエクステリア会社や造園会社、リフォーム会社など、ネットショップもそのような建築資材問屋から仕入れて販売しています。このようなことから**複数の会社にサンプル請求をすると、同じような商品がサンプルとして届くことが起きるのです**。そのような会社は仕入れた製品なので製品保証も出来るわけなく、**あっても総輸入元の1年保証が精一杯なのが現実です**。

当社のように独自で製造している会社はほとんどないので、長期の製品保証などありません。**当社は自社の仕様で材質にもこだわって製品作りをしているので、10年間の製品保証をしています**。

人工芝の耐久性はバージン原料を使用して製造され、高い密度の製品を選べば耐久性が期待できますが、そのような製品は少ないといえます。製品保証がある製品は安心できます。自社の仕様で原料からこだわって製造している会社は、製造過程や原料、施工方法まで情報開示をしてくれると思うので、**夢のマイホームのお庭に使用する製品は人工芝専門会社から購入されることが安心につながります**。



7, 販売（施工）店選び

人工芝を購入するときは、以下の質問をしてみましょう。その答えを聞いて良い製品か、安心できる製品かの判断は、このレポートを元に判断してください。

- 1, 人工芝の密度はどれくらいありますか？（密度：18,900/m²以上、18本以上の芝葉の使用）
- 2, 芝葉の形状はどのようになりますか？（C型またはV型）
- 3, 耐久性は何年ありますか？（7年以上）
- 4, バックイングのコーティングは何ですか？（ポリウレタン）
- 5, リサイクル原料を使用した製品ではないか？（バージン原料で製造）
- 6, 品質保証はありますか？（7年以上）

カッコ内の内容にあてはまれば問題ない製品といえます。それから外れていても悪い製品ではないと思いますので、あなたの判断で購入を決めていただけたらと思います。